

(1) 教科：家庭科

(2) 本時の目標：食品に含まれる栄養素を知ろう。

国頭中学校赴任2年目の教師である。

5月7日に福岡県議会のみなさんの訪問のさいに、10分ほど授業を観察させてもらった(RシートNo.115 2年生 家庭科)。

驚きの授業風景であった。生徒達が実に和やかに学び合い、支え合い、聴き合っているのである。生徒の仕草や言葉のやりとりも実に柔らかい。教師にも各々の持ち味がある。この生徒達の授業風景を作り出しているこの教師の魅力はなんだ・・・

5月11日、国頭中学校日曜授業参観。私は迷わずN先生の授業に1時間張り付けてもらった。期待通りである。

私の授業観察も快く受け入れて、それでいて身構えることも決してなく、実にじみで淡々と、しっとりである。すばらしい!

生徒達が安心して授業に参加している。一人も投げ出したり、身構えて無理をしていない。生徒も教師も柔らかい。



(時間は時刻)

9:40 【授業開始】 淡々と授業がはじまる。はきはきした明確な授業者の声であるが、テンションはあえて上げていないのであろう。授業者のちょっとした言葉が確実に生徒達の心に届いていることが確認できる。



写真①

教師によっては、無理にテンションを上げ、大きな声で盛り上げて楽しくやっという姿勢を見せる者もいるが、ここでは不必要である。「明るく元気に楽しく」についていけるのは少数であることをぜひ知ってほしい。どんな生徒も柔らかくしっとり入れる教室をつねに準備したい。写真①、授業開始前に制服の乱れた男の子にちゃんとするようにうながす授業者、素直に聴き入れる生徒である。授業者と生徒の関係が良好であることは、このようなちょっとしたやりとりで見ることができる。

9:41 【手早く前時の復習】 前時の振り返りを問答で確認する。



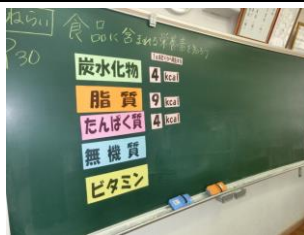
あっさりやるからいい。生徒達も聴き入る場面である。授業者との質問のやりとりやノートで確認し、本時の課題を確認する。前時の振り返りから、本時の課題確認まで2分程度である。よく、数学や社会科の教師がドリルを準備し、前時の学習をどれだけ覚えているか「試している。」行為を観るが・・・どうだろう?



授業開始早々、前を「試される」生徒達は思うだろう。覚えている、覚えていないを把握することも大切であるが、生徒たちの「今日は何をする。」の期待感を大切にしたい。授業開始時のドリルは否定はしないが(教師によっては本時の授業プランの材料ともなる場合がある)、気を使いたい。長くても7分以内(私は5分以内を提案したい)には本時の課題を示し、グループに下ろしたい。

9:45 【グループへ】

本時の「やること」を確認し、1例だけ授業者が黒板に示した。生徒たちは「もうわかった。」である。さっそくグループ内で表の見方やノートへの書き込み方がボソボソと対話される。授業者の説明、質問、確認が「くどくない! しつこくない!」納得できなかったら「仲間に訊けばいい。」というのが学び合う教室のルールである。



写真②

写真②、ケアにまわる授業者である。なんと、「教科書を忘れる子がいるかもしれない」授業者は本時の学習ページを1部印刷して準備していたのである。わたされた生徒の表情が緩んだのを確認できた。

「一人もとり残さない・・・」最高の配慮、目配り、気配りではないだろうか。



9:47～ 【表の見方の練習問題をこなし、各食品の栄養素を調べる。】



聴き合う・訊き合う・支え合うがあたりまえである。実にみんな夢中になって問題に向き合っている。一人もとり残される様子がない。

分からない者は卑屈にならず素直に「訊いている」「訊かれたら一緒に考えてあげる。」なんの違和感もなく対話が交わされる。しかもどのグループを見ても生徒たちの表情が実にいい。



途中、授業者はケアの要する生徒に気を使おうとするが、全く不必要である。小学校の頃から私が気にかけていた子がこの教室にいたが、それも、私一人の余計な心配であった。

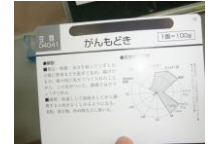
それにしてもいい空気が流れている教室である。この風景を見たら誰だって安心するのではないだろうか。



10:13～ 【新たな課題：食品カードの栄養素を調べる】 栄養素ごとの仲間わけ。



授業におけるモノの準備は大切である。モノを媒介に対話が交わされ、仲間との対話の中から新たな「学び」を内化する。授業者の準備が生徒達を夢中にさせ、学びの質を高める。素晴らしい！



10:19 【共有する】

食品カードを栄養素ごとに分けて黒板に提示する。ここでも「学び合い」である。

当たっているか？みんな不安である。ぼそぼそと仲間と確かめ合う。写真③の男子「ほらねやっぱり」仲間の発表から自分の考えが正しかったことを確信したのだろう。これも、学びである。



写真③

10:25 【授業終末】 授業者による確認



「分からなかった」の共有！授業者は授業終末に生徒たちの中から出た。「分からなかった。」を共有した。食品はコンニャクである生徒たちの声にしっかり心を傾けていた。

ていた。

「分からない」の共有に聴き入る写真④の生徒たちの眼差しを見てほしい。「分かりたい」のは「分からなかった。」ことである。



写真④

【1枚の写真】 9:45

グループ活動へ移った時、資料を取りに行った仲間の机を直してあげた女の子である。実にさりげなく、当たり前のようにやっていた。ほめてあげたい、ほんとに心からほめてあげたい。



N先生、ほんとにありがとうございました。素敵な授業でした。私がとってもすっきりしました。村内の小学校7校（5つはへき地校）の子ども達が違和感なく溶け合っている風景を見てほんとに安心しました。「教師の言葉が生徒に届く」とは…こういう授業です。すっきりした授業展開も素晴らしかったです。生徒達にとっての授業内容の浸透も、分かりやすかった授業展開があったからではないでしょうか。N先生、自信をもって思いっきり生徒達と授業を楽しんでください。本日は心より感謝申し上げます。

国頭学びの会ゆい